

MRI 装置

MRI とは

磁気力（磁石）によって体中の情報を画像として得る装置です。他の放射線検査と違い被ばくすることはありません。装置の物理的特性のため検査中は大きな音がします。検査時間は部位や内容により異なりますがおおよそ 15～30 分間程度です。

使用装置について

Philips 製 Ingenia1.5T (89MRI 室)



2017 年 10 月の装置更新に伴い、旧装置と比較すると格段に性能が上がりました。大きく分けて以下の 2 点が挙げられます。

1. 検査環境の改善
2. 画質向上と検査時間の短縮

1. 検査環境の改善

今回導入の一番の目玉としては Philips 製として道内唯一（2017 年 10 月時点）の In-bore Experience システムを導入しました。

In-bore Experience とは

- ・検査室内イルミネーションシステム
- ・映像システム

です。

検査室内イルミネーションシステム

検査室内を自由にライトアップすることが可能です。これによりリラクゼーション効果が期待でき、検査の不安を和らげることが期待できます。



映像システム

検査を受けながら動画を見ることが可能です。これにより検査中の閉塞感が緩和されるとともに、動画に集中することで体感的に検査時間が短縮し、検査に対する苦痛を緩和することに期待が持てます。閉所恐怖症で今まで検査が出来なかった方でも検査可能になった場合もあります。



実際の被検者の声

映像があったので暇にならなかった。

閉塞感を感じなかった。

検査時間が早く感じた。 Etc...

2. 画質向上と検査時間の短縮

新装置になり、受信した信号をすぐにデジタル変換できるようになったため信号損失が少なく今まで以上に高感度化となりました。また、2018年9月にCS-SENSEという高

速撮像を可能にするソフトウェアが導入され、さらなる高速撮像、画質向上が期待されます。

新装置になり、被検者に優しい機械となりました。安心安全を第一によりよい検査の提供を追及してまいります。



検査の流れ

- ① 89MRI 室にご案内します。
- ② 検査部位によらず検査着に着替えていただきます。事前に記入いただきました問診票をもとに体内金属や、湿布や貼り薬など検査室内に持ち込み出来ないものの確認をします。マスカラや、アイラインなどのお化粧品は火傷の事例が報告されているため極力その場で落とすよう協力いただいております。
- ③ 撮影部位や方法により、機械をきつくまきつけたり、息を止めた状態での撮影もあります。狭い空間ですので、不安な方は検査前にお知らせください。